

One Team Hokuetsu ②②



5月21日(木)おはようございます。
今日は1年生の登校日です。明日からは、
分散登校ですが、3学年そろって、授業が
始まります。With コロナ、Post コロナとも



言われています。新しい生活様式に沿った、学校生活を考えていきましょう。

え～、突然ですが、学校が再開しますので、今日で、この One Team Hokuetsu 最終回とさせていただきます。大変多くの方々に毎日、ご覧いただきました。ありがとうございました。

昨日の対談は、1年3組副任体育科の米田先生と3年8組副任英語科の宮野先生の対談でした。小さい頃から野球をやられ、現在も野球部の顧問でいらっしゃいます。さて、今日の対談は、予想がつくでしょうか。最終回にふさわしい方です。お楽しみに。



宮野：今日は保健体育科の小島先生にお話を伺います。小島先生、よろしくお願いします。

小島：よろしくお願いします。

宮野：小島先生は野球部の監督をされていますが、野球を始めたのはいつでしたか？

小島：小学校3年生のときです。野球チームに入るのを楽しみにしていました。朝練に自力で起きられるように、目覚まし時計を買ってもらったのを覚えています。

宮野：早起きは野球少年の宿命ですね。野球チームに入ったら、ずっと野球一筋でしたか？

小島：いえ、田舎だったので、陸上・水泳・剣道・バスケットボール…いろいろなスポーツを経験して大会にも出させてもらいました。

宮野：子どもの頃の経験で、今も生きていると思うことはありますか？

小島：子どもの数が少ない中で、遊びもスポーツの練習も、どうやったら面白くなるかと工夫していました。人数が少なくても、その環境の中でどうしたら皆が楽しめるかいつも考えていました。

宮野：なるほど。野球部でも、今の環境を有効活用した練習をたくさん考えられていますね。先生の高校野球を振り返るとどうでしたか？

小島：中学や高校では、ケガでボールを投げられなかったことがあり、またイップスにもなってしまう、野球が苦しくなった時期がありました。

※イップス＝精神的な原因などにより、突然自分の思い通りの動きが出来なくなる症状。

宮野：そうなんですか。克服することはできたんですか？

小島：はい。開き直って身体感覚に任せるようにしたら、いつのまにか投げられるようになっていました。理論も大事だけど、自分の身体感覚もすごく大事だと思うようになりました。それと同時に、自分はなんで一番向いてない競技を選んでしまったんだろう…とも思いました。でも野球はずっと好きで、嫌いにはならなかったです。

宮野：そんな経験があったんですね。小島先生は体育大学のご出身ですが、受験のためにどんな勉強をされていましたか？

小島：高校入学時は、国公立大学を志望していました。でも、高校の授業がとても難しく、消化試合の授業がどんどん増えていきました…(笑)。志望校も、受験科目の少ない私立大学に変えました。その後、数学を諦めて4教科が3教科になり、さらに社会を諦めて3教科が国英2教科になり…ついには割と得意だった体育を受験科目に加えることにしました(笑)。それが理由で、体育系の大学に行こうと思いました。

宮野：では、最初から体育の先生を目指していたわけではなかったんですか？

小島：そうです。「夢を叶えて教師になった」先生が多いと思いますが、私はそうではないですね。

宮野：ちなみに、どんな夢を持っていましたか？

小島：プロ野球選手になりたかったです。小6のときに甲子園に行って試合を見て、たくさんの人から応援されている選手を見て感動しました。そして、いつか自分も…と思うようになりました。プロ野球選手にはなれなかったけれど、今もたくさんの人から北越高校野球部を応援していただいて、夢はまだ続いていると思っています。

宮野：結果として、たくさんの人から応援していただいているのは同じですね。

小島：そうですね。昔は、「なりたい職業」が夢だと思っていたけれど、今は「生き方」が夢なんだ、と思っています。体育教師として、野球部の顧問として学校や野球界に貢献していきたいです。

宮野：今も、夢を追いかけている途中なんですね！

小島：はい！もっと沢山の皆さんに北越高校を応援していただきたいし、生徒や卒業生の方々にも誇りを持っていただけるような学校にしていきたいと思っています。

宮野：そうですね。では最後に、生徒の皆さんへ向けてメッセージをお願いします！

小島：最近「どうやったら人は能力を発揮できるか」について研究しています。色々なことを調べていくと、昔の自分はなぜ能力を発揮できなかったのか、わかってきました。「今、目の前のことに全力で取り組む」それが能力を発揮するカギだと思います。

宮野：先生がよくおっしゃっている「集中力」ですね。

小島：はい。「集中力」は誰でも持っている力です。あとは、その発揮の方法を知っているかどうかだと思います。

宮野：集中力を発揮する方法はありますか？

小島：野球部では、ボールを縦に2個積むことを毎日やっています。やっていると、ボールの中心だけに集中することができ、余計な考えや気持ちがなくなっていきます。ボールがなければ、1円玉や10円玉を縦に立てるのもいいですね。

宮野：勉強の前にやると集中力がアップしますね！最後に、生徒たちにメッセージをお願いします。

小島：はい、今、新型コロナウイルスの影響で、今後の見通しがなかなか立ちません。その中で、私たちにできることは「今、目の前のことに全力で取り組む」ことだと思います。金曜日から全学年で授業が再開しますが、1回1回の授業に集中して、頑張ってください。

宮野：小島先生、ありがとうございました。

今日で、4月16日から続けてきたこのOne Team Hokuetsuも最終回となります。明日からは、分散登校ではありますが、全校生徒が登校し、授業が行われ、徐々にではありますが平常授業に向けて学校が動き始めます。まだ登場いただけていない先生方も、たくさんいらっしゃいますので、続けていきたいところではありますが、今回はここで一区切り。これまで、多くの方々にご覧いただきました。ありがとうございました。また、登場していただいた先生方、ありがとうございました。

Hokuetsu Challenge

5月20日（水）最後のHokuetsu Challenge（になるといいね。）

“Stay home” “Stay safe” “Stay positive”

あなたは、下線部にどんな単語を入れますか。“Stay _____.”

S先生の解答例

Stay “hokuetsu”.

「北越生として、北越らしく、北越に」

皆さんは、何をいれましたか？